

活ける泉

年間聖句
主は人の一步一步を定め
御旨にかなう道を備えて
くださる。
詩編 37編23節



わたし、輝く。ともに、輝く。

校長 安部 成年

皆様はじめまして。私は今年度から本校校長を務めることとなった安部成年(なりとし)と申します。令和元年度まで高校の教員(専門は数学)として、令和2年度から昨年度までは教育センター再任用教職員として県の教育機関に勤務していましたが、縁あって今年度から本校で勤務することになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、「わたし、輝く。ともに、輝く」は、「自らが“幸せ”になるために学んだことを活用し、周りの人や社会の“幸せ”のために貢献できる女性の育成」を目指す本校のキャッチコピーです。本校に勤務することになってこのコピーとその理念を知ることとなったわけですが、この話を聞いた時、私の脳裏に浮かんだのが「半ばは我が身の幸せを。半ばは他人(ひと)の幸せを。」という言葉でした。これは私が大学生の時に出会い、それ以来ずっと愛用してきた言葉です。

当然のことながら、人は自分が幸せになることを常に思いながら生きています。しかし、自分だけが良ければいいという考え方は我がままであり、周囲の理解を得られません。一方で、自分のことを顧みず人の幸せだけを考えるというのは無理があります。自分がある程度満たされていなければ、とても他人事どころではありません。やはり、半分は自分の幸せを確保しつつ、その上で残り半分は他人の幸せにも貢献していこうとする姿勢が、人として生きていく上で大切だと言えます。本校のキャッチコピーは、まさにそのことを示しているのではないかと思います。

ところで、漫画家・絵本作家・詩人のやなせたかし氏の言葉に「人間にとって、生きていく最大のよろこびは、人をよろこばせることだ。」というものがあるそうですが、私もまったく同感です。確かに、人のために何かして、それによって人に喜んでもらうと、自己有用感が高まり幸福感を得ることが出来ます。世のため人のために貢献することは、単に周りの幸せにつながるだけではなく、実は自分の幸せや生き甲斐につながっているということも、私たちは理解しておくべきであろうと思います。

つまり、「わたし、輝く。ともに、輝く」は、人としての本当の幸せを得ることを目指す言葉になっていると言えるのではないのでしょうか。

なお、「輝く」ためには努力が必要であるということも忘れてはならないと思います。楽をして人が「輝く」ことはあり得ません。生徒の皆さんはこれから様々な困難に出会うと思いますが、それを単に嫌な事と受け止めるのではなく、それは自分を磨き輝かせるための材料であると前向きに捉え、果敢に挑戦していつてもらいたいと思います。生徒の皆さんが、将来、世のため人のために輝ける存在となるべく、本校で自らを鍛え充実した日々を送ってくれることを大いに期待しています。

中学卒業式—それぞれの思いを胸に—

3月10日(金)、中学校卒業式が行われました。式の開始前はお互いに卒業アルバムにメッセージを書きあったり、ガーベラのコサージュを付けあったりしてリラックスした時間を過ごしました。式は厳かな雰囲気の中で行われ、緊張した面持ちで26名全員が卒業証書を受け取りました。卒業生を代表して渡辺なおさんが感謝の辞を述べました。教室に戻ってから一人一人がクラスメイトに向けて今まで言えなかった「ありがとう」と「ごめんなさい」の言葉を言い合い、感動の涙を流して中学校を巣立っていきました。(文責:津留美幸)



中学修学旅行

中学校の修学旅行は、2月27日(月)から3月1日(水)の2泊3日で鹿児島と熊本を回りました。

1日目は知覧特攻平和館を見学しました。中学2年生の総合学習のテーマは「平和・人権」ですので、特攻作戦について調べたり、映画を鑑賞したりといった事前学習をしてきました。ここでも見学だけでなく、語り部の方から特攻の歴史的背景と特攻隊員の遺書・手紙等の特色についての講話を聞きました。そして、クラスで準備した千羽鶴を、折鶴奉献の祈りと共におさげしました。祈り鶴を捧げる時や家族や恋人にあてた手紙を読んだ時に、涙を流す生徒が多く見られました。

2日目は鹿児島島嶼新ふるさと館といおワールドかごしま水族館を見学した後、テーブルマナー講座を受講しました。

3日目は、グリーンランドで楽しく遊びました。

全員体調もよく、無事に帰着しました。(文責:三河悠希子)



中学ダンス発表会

3月6日(月)、中学ダンス発表会が行われました。今年のテーマは「The Happiest Girl」。各学年ともマツルカと創作ダンスの二本立てで、中1、2、3年の順で発表されました。マツルカは隊形移動が工夫のしどころ。創作ダンスは、選曲、振り付け、隊形と各クラスのダンス委員を中心にオリジナルを作成、練習を重ねて本番を迎えました。どの学年も、テーマである楽しさや元気さによる幸せな表現にあふれていました。8人の先生方によって審査され、中学3年生が第1位となり、大岩校長から賞状と盾が授与されました。(文責:向井杏奈)



今月の聖句 - 2023年度学院聖句について -

主は人の一步一步を定め みむね 御旨にかなう道を備えてくださる。 詩編 37編23節

私たち人間は、目標に向かって計画を立てます。でも、その計画はいつも予定通りに進むわけではありません。テストに向けて学習計画を立てても、その通り進まなかったり、計画は進んでも、望んでいる結果が与えられなかったりして、がっかりすることがあります。人生の計画も同じです。思い通りいかなくて、がっかりすることだってあるのです。

しかし、たとえ私たちががっかりする結果だと思えるような時でも、神様は私たちの一步一步を計画し、そして神様のご計画にふさわしい道を準備してくださいます。思い通りに進んでいないと思う人生でも、神様が決めてくださった一步一步であり、神様のご計画の中を歩いているのです。私たちのことが大好きな神様が、私たちに素晴らしい計画を準備してくださらないわけがありません。だから、私たちは神様に期待しつつ、目の前に与えられた一步一步を、神様の見守りの中に進んでいくのです。

(文責:三河悠希子)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|------------|-----------|--------|---------------|--------|-----------|------------------------|--------|----------------|-----------------|----------|--------|----------|--------|---------------|-------|---------|-------|-----|
| 29 (土) | 28 (金) | 27 (木) | 26 (水) | 25 (火) | 23 (日) | 22 (土) | 20 (木) | 19 (水) | 18 (火) | 17 (月) | 15 (土) | 13 (木) | 12 (水) | 11 (火) | 10 (月) | 9 (日) | 8 (土) | 7 (金) | |
| 昭和の日 | 身体測定・体力テスト | 歓迎遠足(稲佐山) | 歯科検診② | 高血圧・専門学校公募説明会 | 教会出席日 | 高血圧看護医療模試 | 全国学力学習状況調査英語「話すこと」(中三) | 歯科検診① | 全国学力学習状況調査(中三) | 面談週間(21日、40分授業) | 特進ⅡⅢ土曜課外 | 一次検尿① | 高血圧看護説明会 | 通常授業開始 | 高Ⅰ・中一X線・心電図検査 | 特別時間帯 | 一斉各種委員会 | 入学式 | 始業式 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

4月行事予定



高II修学旅行ー楽しむカー

「修学旅行、めっちゃ楽しみ！」という生徒たちの会話を耳にすると、私もめっちゃ嬉しい気持ちになりました。今年度、3年ぶりに修学旅行が実施可能となり、2月27日（月）～3月2日（木）の3泊4日の日程で、東京（自主研修・芸術鑑賞）、千葉（ディズニーランド・シー）へ行ってきました。みんなクタクタになるほど歩きまわり、観て、聴いて、触れて、味わって、感じて、五感を全て使って楽しんでいました。今回の旅行のメインイベントの1つである芸術鑑賞は、生徒たちに「本物に触れる」体験をして欲しいという目的で、「宝塚歌劇団」「劇団四季」「ルミネよしもと」の3公演から1つ選択してもらいました。宝塚の公演を鑑賞した生徒たちは、「カッコよすぎ！オーラ凄かった！」と興奮冷めやらぬ様子で語ってくれました。その姿を見て、この企画をしてよかったと感じました。また、班別東京自主研修もそれぞれに個性的な場所を満喫していたようです。

とは言え、修学旅行は個人旅行とは違います。旅行中、楽しいことばかりではなく、我慢したり、皆と合わせなければならぬ場面が多々あります。そのような制限のある中で、どれだけ楽しめるかが鍵になります。きっとこれからの人生においても同様のことが言えるでしょう。

今回の一生に一度限りの「修学旅行」を、生徒たちはそれぞれ、どれくらい楽しんでくれたのでしょうか。このような貴重な経験が、生徒たちの人間力を磨き、成長させるのだと感じています。（文責：増田康子）



英語科発表会

3月4日（土）、第20回英語科発表会が行われました。プレゼンテーションに11名、スピーチに1名、レシテーションに4名発表をしました。生徒たちは秋頃から少しずつ準備に取りかかり、発表会を迎えました。題材や内容、日本語・英語で書くこと、内容理解、英語の発音、発表のスキルなどの過程を通して様々な経験と学びを得たことと思います。3年間で1度しかないこの英語科発表会を無事に完成させることができ、嬉しく思います。

今回の経験をこれからの学びに生かし、成長していくことを期待しています。

（文責：喜明愛土）



球技大会盛り上がる

3月16日（木）にバスケットボールの球技大会を行いました。久々のバスケットに生徒たちは一生懸命プレーし、大きな声で応援をしていました。

高校は各クラス5班作り学年別の予選をし、各学年上位2クラスが準決勝、決勝と行い、優勝はII D、準優勝はI B、3位がII CとI Cでした。

中学は2学年を縦割りに赤青に分け7班作って試合をして赤が優勝しました。今年度最後の行事、大きなけがもなくみんな笑顔で終わることができました。（文責：平野智也）



高II、高I探究発表会

3月7日（火）、8日（水）と、高I、高IIでそれぞれ、「活ける水」探究大賞発表会が行われました。高Iは「地域を知ろう」をテーマに長崎市の課題について取り組み、高IIは各自の興味や関心に応じて課題設定を行いました。昨年9月から探究活動に取り組み、2月の予選会で8班が選考され、英語科を含む10班が発表を行いました。高I、高IIの受賞結果は以下のとおりです。（文責：古田雄介）



- 高I 探究大賞 B組7班 井澤海帆、城野にこ、平田明日羽、山崎香怜奈
「長崎市に来る外国人観光客にとって利用しやすい路面電車の利用方法」
- 優秀賞 A組5班 稲富裕香、小島穂花、木場笑里、原野華奈
「外国人の学生に平和についての動画を配信し、客観的な意見をもらおう」
- 優秀賞 A組6班 本田李々、飛田藍香、土肥瑚青、木下未夢
「長崎の水害を防ぐ取り組みと対策」
- 審査委員特別賞 C組20班 峰和香奈、中島鈴、近藤未昊、永田陽菜
「西九州新幹線の利用者増加を目指す長崎オリジナルの旅行プラン」
- 高II 探究大賞 9班 安田奈芳、若杉茉桜 「音と記憶の相関性」
- 優秀賞 3班 高木涼可、富田佳穂、堀麻里菜
「日本の臓器移植の現状と私たちにできること」
- 優秀賞 20班 榎木歩奏、藤本翔上 「外見が与える影響」
- 優秀賞 27班 石本栞音、川原彩華、有田こころ、田中柚夢
「ラピュタから学ぶ人を思いやる気持ち」



音楽コースファイナルコンサート

3月18日（土）、チャペルにおいて、音楽コースファイナルコンサートが開かれました。活水学院創立100周年となる1979年4月に開設された活水高等学校普通科音楽コースは、専任教員に加え、多くの講師や外部レスナーにも専門指導をいただき、普通科ながら多様な音楽の専門科目が履修できるユニークなコースでした。これまで多くの卒業生が学び、卒業後も音楽に携わって各方面で活躍されています。

2023年3月の卒業生をもってこのコースを閉じることとなり、このたび、～感謝のしらべ いつまでも～と題し、歴代の卒業生による12のステージが披露されました。（文責：石村直義）



大会等成績

〈音楽〉

Pia-Conピアノコンクール九州I地区大会
近現代曲部門中学生以下の部 優秀賞 ならびに
デュオ部門中学生以下の部 優秀賞 高野萌々香

〈バドミントン〉

長崎市総合バドミントン選手権大会（高校の部）
女子ダブルス 1位 西平咲・松山陽香
女子ダブルス 3位 村本果奈・田中柚夢
女子シングルス 2位 若杉茉桜

〈弓道〉

長崎地区弓道選手権大会
高校女子団体 3位 弓道部活水Cチーム
（福田瑛奈・浅房愛花・谷村美有）
長崎県高等学校・中学校弓道遠的選手権大会
女子団体の部 優勝 活水Aチーム
（西崎凜花、高橋明日美、森永芹加）
女子個人の部 優勝 西崎凜花

（文責：山口真樹人）